

# 玄関ドア 断熱枠 組立・施工マニュアル

絵表示	意味
<b>△注意</b>	取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。
<b>お願い</b>	「必ず行なっていたく事」を示しています。

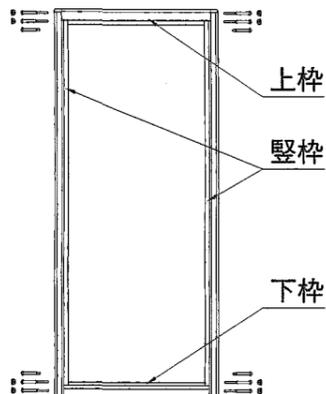
枠タイプ	内容物	数量
らんま無し	1 上枠	1
	2 下枠 (巾木付)	1
	3 縦枠	2
	4 溝塞ぎカバー	4
	5 ドアクローザーセット	1
	6 ビスセット	1
らんま付き	1 上枠	1
	2 下枠 (巾木付)	1
	3 縦枠	2
	4 無目	1
	5 押縁	4
	6 溝塞ぎカバー	4
	7 後付けビードセット	1
	8 ドアクローザーセット	1
	9 ビスセット	1

枠タイプ	内容物	数量
片袖付き	1 上枠	1
	2 下枠	1
	3 下枠巾木	1
	4 縦枠	2
	5 方立	1
	6 溝塞ぎカバー	5
	7 方立カバー	2
	8 ドアクローザーセット	1
	9 ビスセット	1
両袖付き	1 上枠	1
	2 下枠	1
	3 下枠巾木	1
	4 縦枠	2
	5 方立	2
	6 溝塞ぎカバー	6
	7 方立カバー	4
	8 ドアクローザーセット	1
	9 ビスセット	1

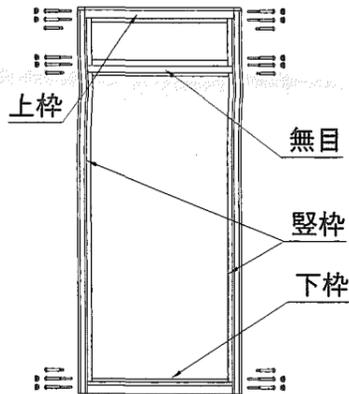
- お願い** 組立ビス、木ビスは確実に締めこんで下さい。  
 【1】 図はすべて右勝手を示していますが、左勝手も同様に組み立てて下さい。  
 【2】 組立前に内容物を確認してください。(右表を参照してください。)
- お願い** この説明書はドアを取付ける方へお渡しください。  
 【1】 錠セット・ドアクローザーの取付・調整は、それぞれに同梱してある説明書をご覧ください。(ドアクローザーは枠の梱包に入っています。)  
 【2】 躯体への取付寸法はカタログを参考にしてください。
- △注意** 危険防止の為、ドアの建て込み、及び躯体への取付は必ず二人以上で行なってください。

## 1 枠の組立て

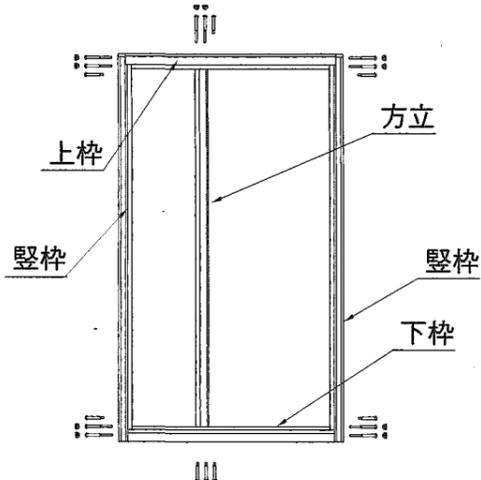
### ●らんま無しタイプ



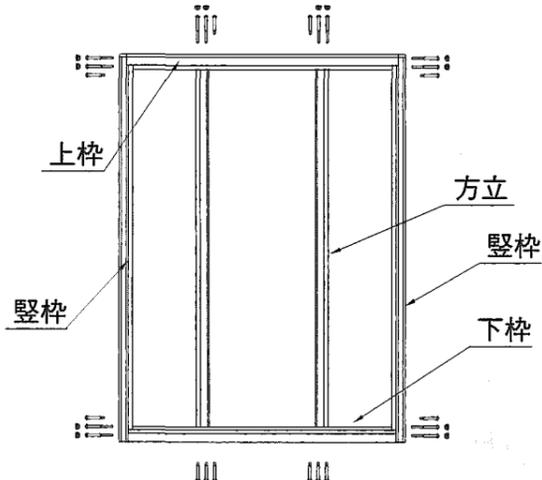
### ●らんま付きタイプ



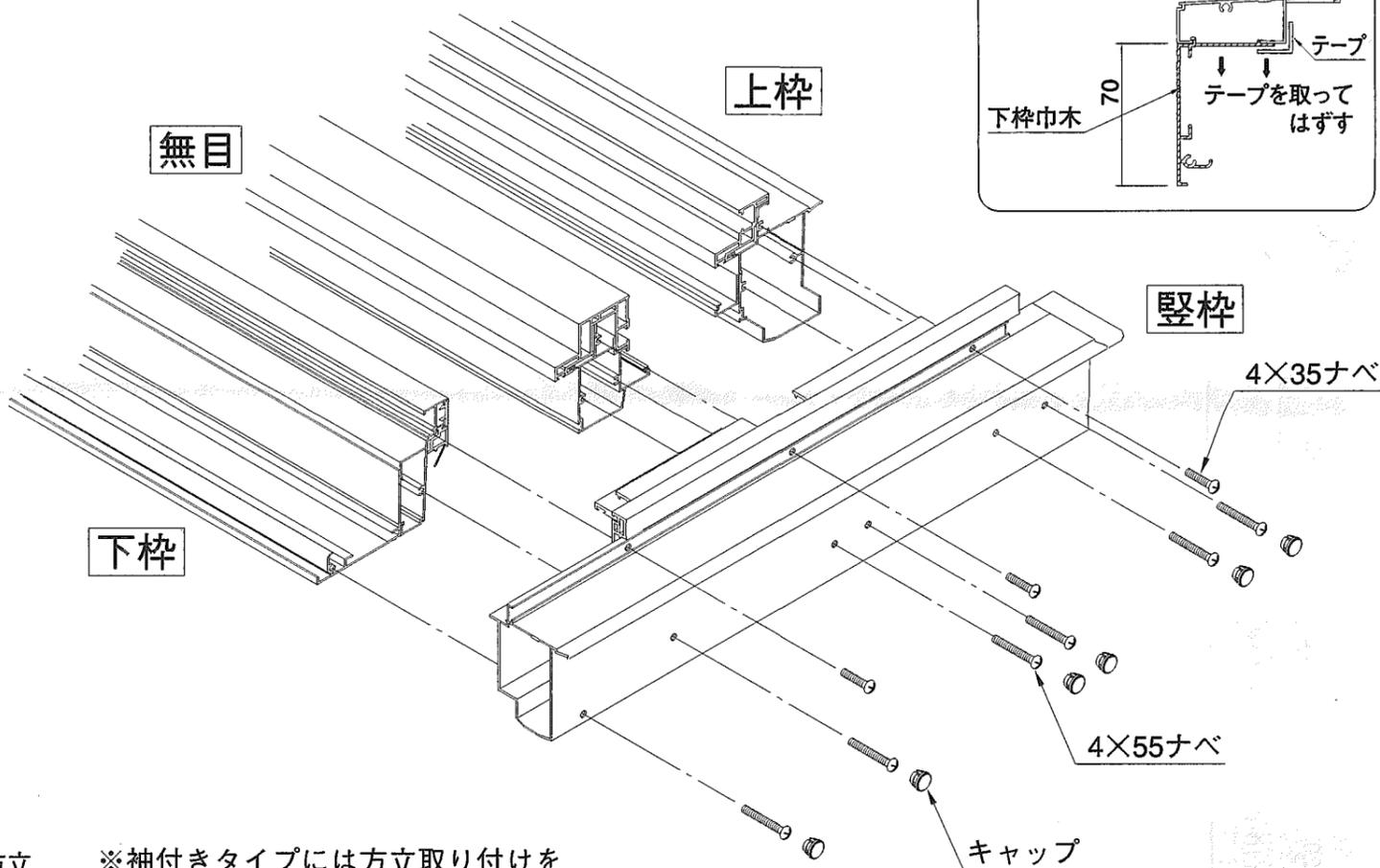
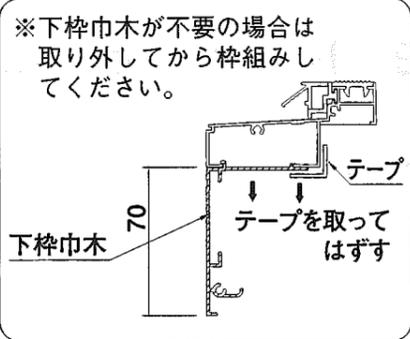
### ●片袖付きタイプ



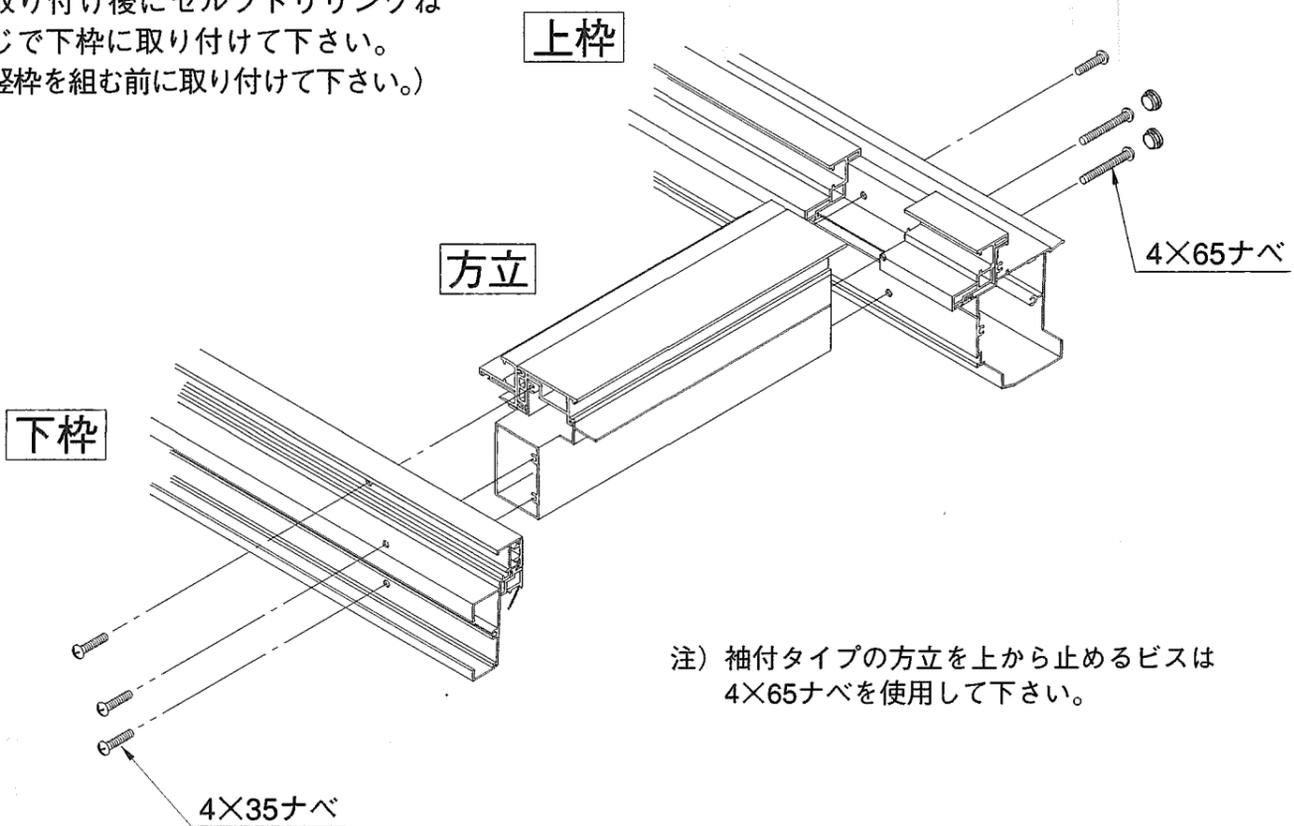
### ●両袖付きタイプ



※袖付タイプ以外は右図のように下枠に巾木がついた状態で梱包されています。



※袖付きタイプには方立取り付けをしやすいするため、下枠巾木は方立取り付け後にセルフドリリングねじで下枠に取り付けて下さい。(縦枠を組む前に取り付けして下さい。)



注) 袖付タイプの方立を上から止めるビスは4x65ナベを使用して下さい。

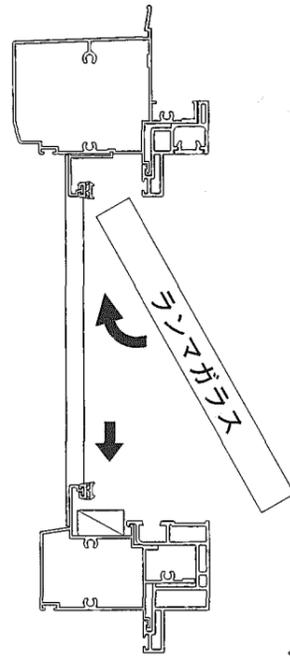
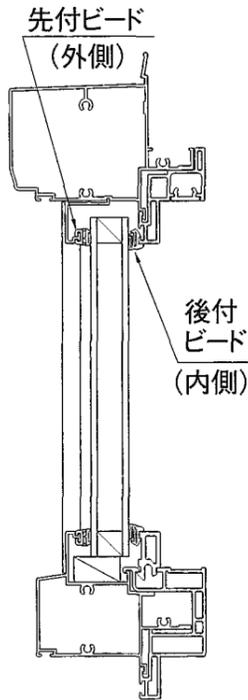
## 2 ランマガラスの建て込み

※断熱ドア枠A型のランマガラスは18mm厚から22mm厚まで対応出来ます。下表にしたがい、先付・後付各ビードを使用してガラスを入れてください。

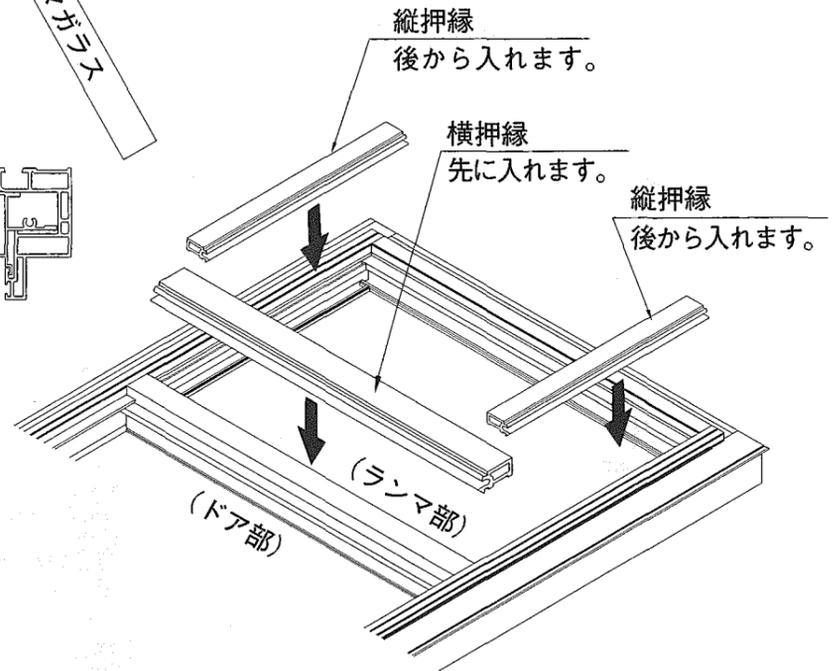
※ランマガラスの寸法はカタログを御覧ください。

使用ガラス厚 (PG組合例)	ガラス納まり図	先付ビード (工場取付済)	後付ビード (同梱部品)
18m/m (3+A12+3)		そのまま使用	
19m/m (3+A12+4)		そのまま使用	1枚剥ぎ取り
20m/m (3+A12+5)		そのまま使用	2枚剥ぎ取り
21m/m (4+A12+5)		1枚剥ぎ取り	1枚剥ぎ取り
22m/m (3+A12+6.8)		1枚剥ぎ取り	2枚剥ぎ取り

**注意** ※厚さ21mm以上のガラスを使用する場合はガラスを入れる前に先付ビードを剥ってください。



- 1) ランマガラスの建て込み  
・上枠側から先に入れて下さい。
- 2) 押縁のセット  
・下の押縁をセットした後、縦の押縁を嵌め込んで下さい。

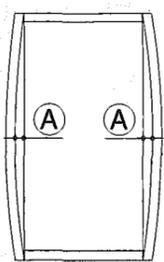
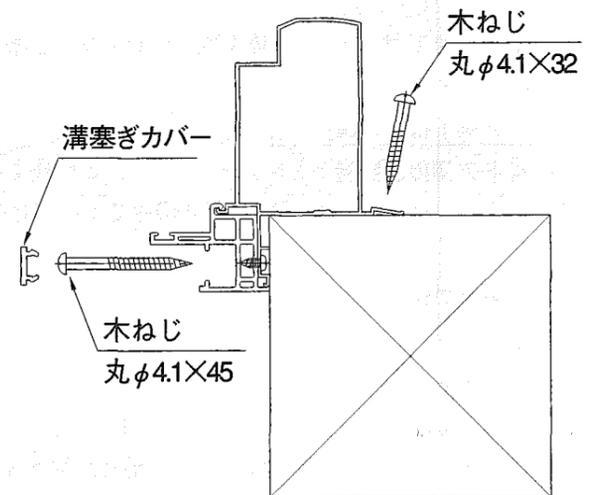
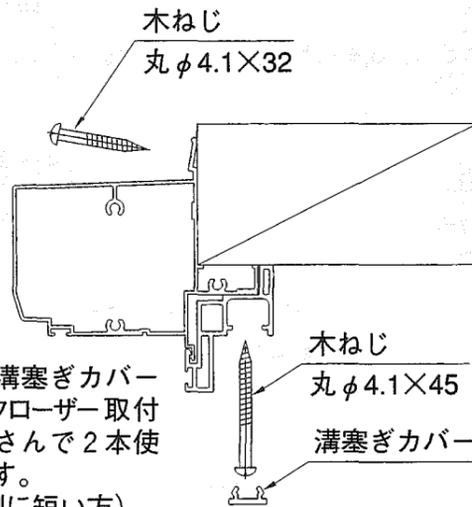


## 3 躯体への取付

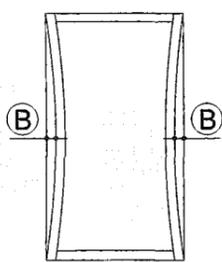
**お願い** 下げ振り、水準器等で開口部を正しく調整し、水平、垂直対角寸法及び、ネジレのないことを確認して下さい。枠の寸法については下記(A)~(E)の寸法をお守り下さい。

性能・開閉に支障をきたす他、扉の吊込みに支障をきたすおそれがあります。

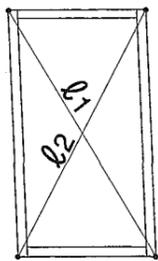
※上枠の溝塞ぎカバーはドアクローザー取付部をはさんで2本使用します。(吊元側に短い方)



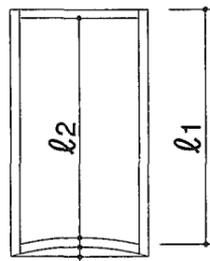
(A)=2.0mm以下  
ドア枠のソリ(フクレ)



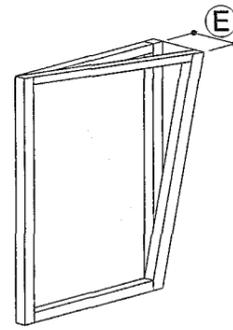
(B)=2.0mm以下  
ドア枠のソリ(ツツミ)



$l_1 - l_2 = (C)$   
(C)=3.0mm以下  
ドア枠対角の差



$l_1 - l_2 = (D)$   
(D)=3.0mm以下  
ドア下枠のソリ(上がり)



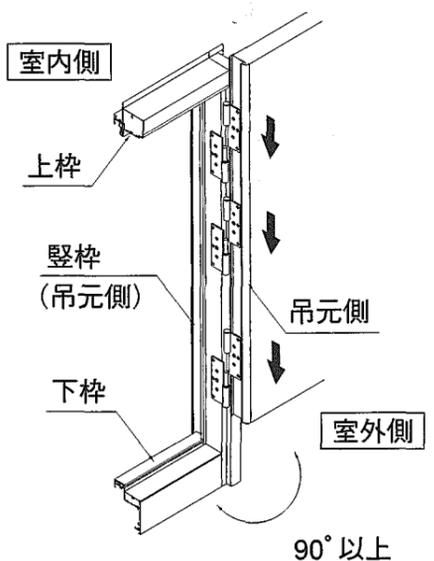
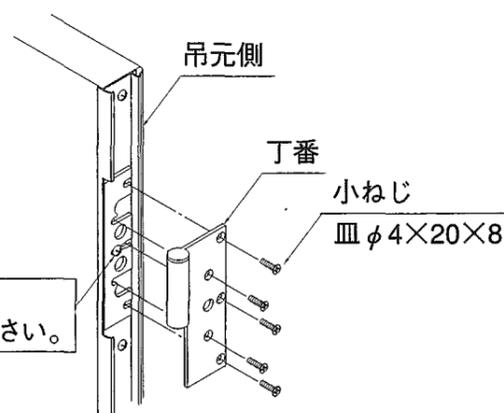
(E)=3.0mm以下  
ドア枠のねじれ

## 4 丁番の取付

- 1) 縦枠に付いている丁番の本体側をはずして、本体、子扉にビス止めして下さい。

- ・H23タイプは上部用1枚、下部用2枚
- ・H20、らんま付きタイプは上部用1枚、下部用1枚

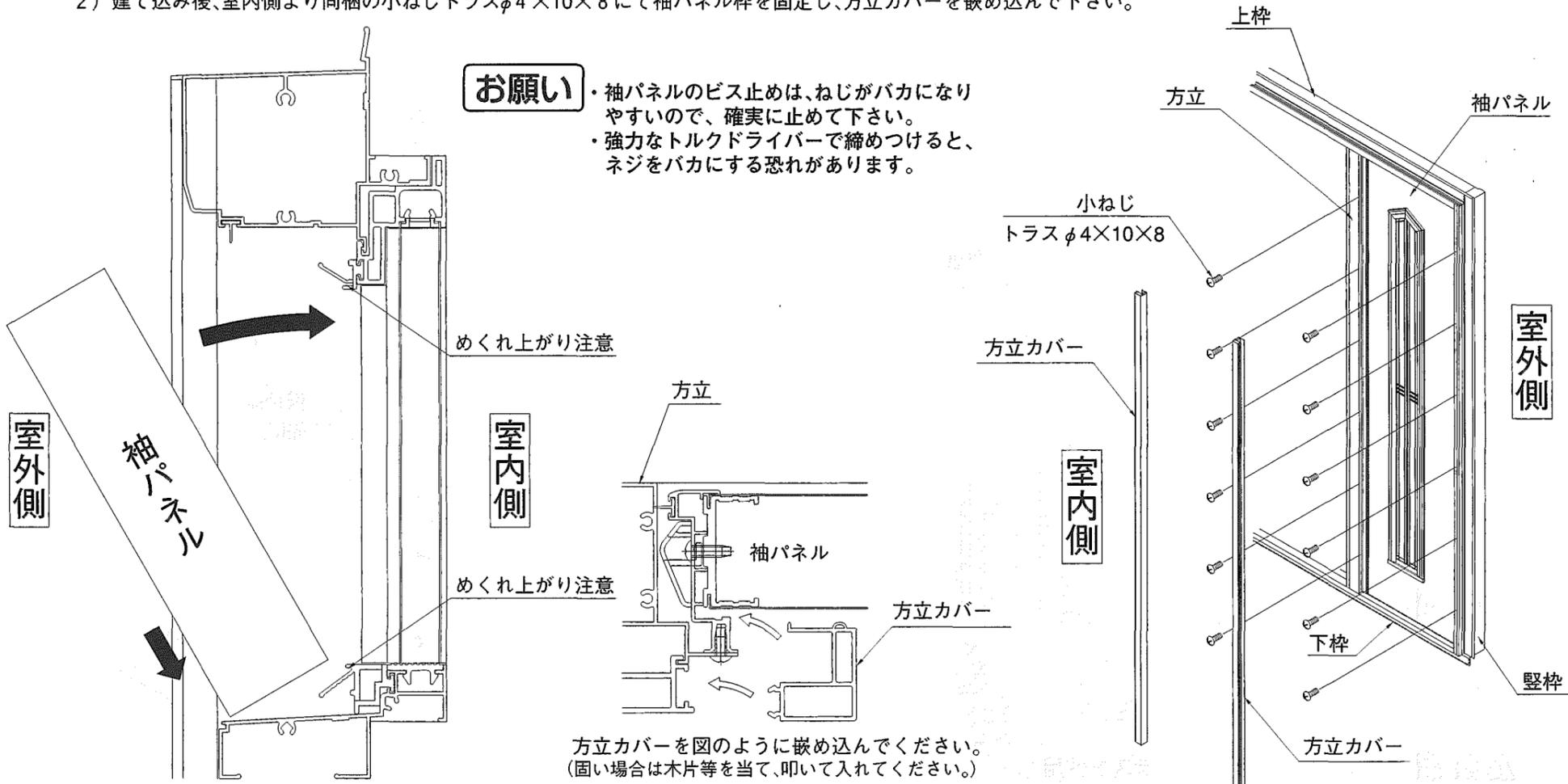
このねじははずさないで下さい。



90°以上

## 5 袖パネルの建込み

- 1) 下枠に袖パネルをのせ、上下枠タイト材がめくれ上がらないように上部を枠内に押し込んで下さい。
- 2) 建て込み後、室内側より同梱の小ねじトラスφ4×10×8にて袖パネル枠を固定し、方立カバーを嵌め込んで下さい。



## 6 建付け調整

※この建て付け調整は、枠を取り付けた後で調整が必要になった場合の補助的なものです。

### ●左右方向の調整 (図-1)

#### ドア側丁番での調整方法

<ドア側の調整量> スペースを2枚外すと 3.0mm  
中央で切って1枚だけ外すと 1.5mm  
調整できます。

(中央で切った際、スペースにバリが出るがありますが機能上特に問題はありません。)

- 1) ドアの丁番取り付けねじ(6本)をゆるめて下さい。(ねじは完全に取り外さないで下さい。)
- 2) ドアに取り付いているスペースを引き抜いて外して下さい。(図-2)
- 3) 丁番取り付けねじを締め付けて下さい。

注) スペースを抜く場合には、丁番と縦枠がぶつからないようにドア側の丁番取り付けねじを調整し、A寸法(図-3)を0以上として下さい。

#### 枠側丁番での調整方法

※この調整には丁番スペース(オプション)が必要です。

<枠側の調整量> スペースを2枚入ると 3.0mm  
中央で切って1枚だけ入ると 1.5mm  
調整できます。

(中央で切った際、スペースにバリが出るがありますが機能上特に問題はありません。)

- 1) 枠の丁番取り付けねじ(6本)をゆるめて下さい。(ねじは完全に取り外さないで下さい。)
- 2) 丁番スペース(オプション)を調整分だけ枠と丁番の間に狭み込んで下さい。
- 3) 丁番取り付けねじを締め付けて下さい。

注) スペースは3枚以上入ると、枠とドアが接触し開閉し難くなる場合があります。

### ●見込み方向の調整 (図-4)

<調整量> 枠丁番を室外側へずらすと ~2.0mm  
枠丁番を室内側へずらすと ~2.0mm  
トータル4mm調整できます。

- 1) ドアの枠から外し、枠側の調整する丁番の取り付けねじ(6本)をゆるめて下さい。この際にねじは完全に取り外さないで下さい。
- 2) ねじをゆるめた後、丁番を室内または室外側の調整位置に合わせてねじを締め付けて下さい。(図-5)

以上の調整が完了しましたら、ドアを枠に吊り込み再度ドアの開閉に支障がないことを確認下さい。開閉に支障がありましたら再度上記調整方法にて調整願います。

図-1

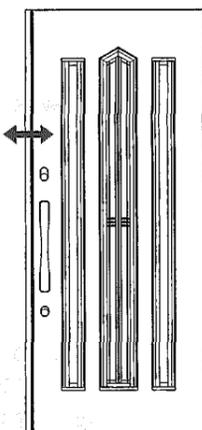


図-2

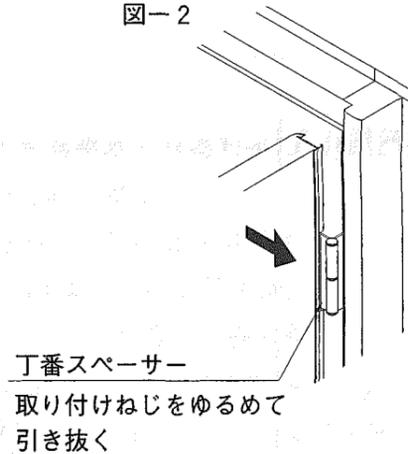


図-3

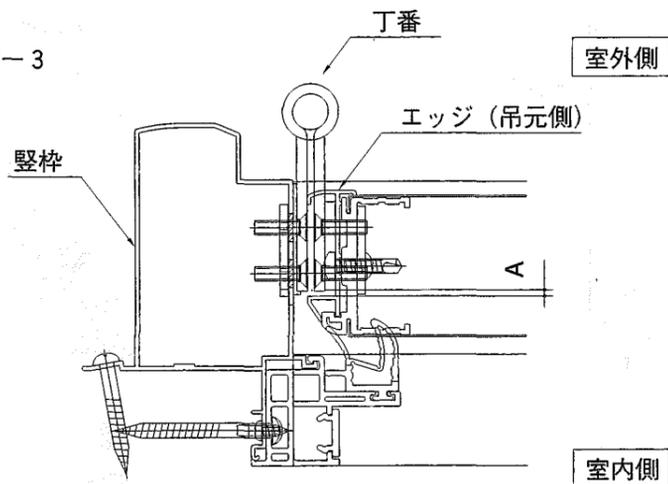


図-4

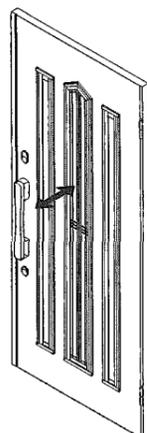


図-5

